

<報道関係各位>

2020年12月25日
株式会社タスカジ

依頼者・ハウスキーパー「タスカジさん」・タスカジ社と一緒に ゴールを目指す、『タスカジ SDGs 宣言』を策定！

～みんなであたらしい家事文化づくりを目指す
成長志向のプラットフォーム型ビジネスのあたらしい SDGs のカタチ～

シェアリングエコノミーの家事代行マッチングプラットフォーム「タスカジ」を運営する、株式会社タスカジ（本社：東京都港区、代表取締役：和田幸子、以下タスカジ）は、「国連において採択された SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に貢献すべく、活動の根源となる自社の『ビジョン・ミッション』を改めて確認するとともに具体的な行動指標を定めた『タスカジ SDGs 宣言』を行います。

■ 背景

タスカジはこれまでも家事を中心とした意識改革や行動改革をはじめ、さまざまな活動をしてきました。

その1つが「家事代行は高価、家事は単純作業」という旧来型の家事意識の改革です。タスカジは CtoC のマッチングプラットフォームというビジネスモデルを通して、『コミュニティ循環型サービス運営モデル』の先駆けとして、2014年のサービス開始以来、人材や画一的なマニュアルを保有せずにプラットフォーム上のコミュニティを発展させることで「品質の強化」と「労働力の創出」に取り組んでまいりました。それに伴い、業界最安値水準での家事代行利用を実現させることや、「困っているひと誰もが家事のサポートを求めてよい」という意識改革、そして、効率的に家事をするための家事ワザをまとめた本や、社会問題にもなっている食品ロスをテーマに余りがちな食材を使い切るためのレシピ本などの14冊・累計約45万部もの書籍出版も行いました。

このように、タスカジは家庭のあらゆる「家事」をベースに、創業以来一貫してタスカジの事業が社会の課題解決に貢献できるよう取り組んでまいりました。

また、現在の SDGs の流れは、企業活動がより一層社会に密接した存在となり社会課題を解決する重要な役割を担っていることと改めて認識しております。

そこで我々はその考えをさらに強化するために、SDGsの中でも特に重視するターゲットとそれに向けた指標を経営の成長戦略に組み込むべく、この度『SDGs 宣言』としてまとめることにいたしました。

■ ビジョン・ミッション

<ビジョン>

「自由な選択で、自分らしく生きることができる世界」


<ミッション>

「あたらしい家事文化をつくる ～制約からの解放を目指して～」


- ・「核家族から拡大家族へ」家族の形を再定義
- ・家事の知見を社会へ還元

■ 宣言全文

タスカジは自社のミッションである「あたらしい家事文化をつくる」ことで解決につながると考えられる、SDGsのうちゴール5「ジェンダー平等の実現」とゴール8「働きがいも 経済成長も」を重点テーマとし、以下のターゲットについて、自社の提供するサービスの成長を通して達成に貢献してまいります。

	ターゲット	タスカジの貢献と指標
 5 ジェンダー平等を実現しよう	5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。	■タスカジの貢献 男性の家事参加プログラムの提供により、男性の家事参画を促し、世帯・家族内における家事負担割合の不均衡是正及び責任分担の促進を図る ■指標 <ul style="list-style-type: none"> ・タスカジブートキャンププログラムへの男性参加人数及び参加率 ・タスカジへ依頼者としてのファミリー世帯男性登録人数及び登録率
	5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。	■タスカジの貢献 家事負担軽減により心身の余裕を創出し、女性がリーダーシップを発揮する機会を増加させる ■指標 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー的地位*に就く女性の比率 ・リーダー的地位*を目指す女性の人数または比率 ・上記の意識変容

*リーダー的地位とは「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する」という政府目標（いわゆる『2020年30%』の目標）における「指導的地位」の定義を基に、ここでは次の①～④に該当する方を表します。①議会議員、②法人・団体等における課長相当職以上の方、③専門的・技術的な職業のうち特に専門性が高い職業に従事する方、④起業準備中の方

	ターゲット	タスカジの貢献と指標
 8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。	■タスカジの貢献 タスカジのプラットフォームを通してタスカジさんに新たな就業機会を提供すると共に、家事負担の軽減という社会的要請に応える働きがいのある仕事を提供し続ける ■指標 <ul style="list-style-type: none"> ・新規タスカジさん**登録数 ・登録タスカジさん**総数 ・成長マインドの醸成 ・家事スキルの成長

**「タスカジさん」とは、タスカジプラットフォームに登録している家事代行を担うハウスキーパーの呼称

■ 策定のポイントと今後について

SDGs 5.4及び5.5について、タスカジは、タスカジを利用される依頼者様において、タスカジのサービス利用やカリキュラムへの参加を通してSDGs各ターゲットに定める目標達成に貢献してまいります。

また、SDGs 8.5について、タスカジは、タスカジに登録するハウスキーパーであるタスカジさんへ直接的に労働機会を提供することを通して、SDGsターゲットに定める目標達成に貢献してまいります。

各項目における指標については、内閣府男女共同参画局など行政における具体的な数値目標を参考に、マッチングプラットフォームを提供するタスカジの特徴を踏まえて自社指標として設定いたしました。

今後、当該指標の数値や変化について調査及び発表を行うとともに外部の企業及び団体とも協調しながら、SDGs ターゲットの目標達成に係る評価方法の検討や具体的な目標数値の設定も検討してまいります。

【現状及びアンケート結果】

本宣言に先立ちタスカジでは「ジェンダー平等、働きがいにおける SDGs(5)と(8)の実態調査」を行いました。(アンケート結果についてはこちらを参照：

<https://corp.taskaji.jp/release/2020/12/25/sdgs-survey0001/>)

我々は設立以来あたらしい家事文化の創出にコミットしてまいりましたがアンケート結果はまだ不十分であるという厳しい結果となっております。我々はより一層自社のビジョン・ミッションの推進にコミットしていく想いです。

*2020年12月タスカジ『ジェンダー平等、働きがいにおける SDGs(5)と(8)の実態調査』より一部抜粋

【5.4：家庭内における男性の家事参加の現状】



Q. 全家事業務のうち、「妻」と「夫または男性パートナー」がそれぞれ担当している家事量の割合を教えてください。また、妻から見て割合に満足していますか？

	どちらの割合も満足している (n=97)		妻の割合は満足しているが、夫または男性パートナーの割合は満足していない (n=19)		妻の割合は満足していないが、夫または男性パートナーの割合は満足している (n=28)		どちらの割合も満足していない (n=93)	
	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫
100% (全部担当している)	7.2%	1.0%	5.3%	0.0%	14.3%	0.0%	20.4%	0.0%
75%以上	32.0%	4.1%	42.1%	10.5%	64.3%	0.0%	55.9%	1.1%
50%以上	55.7%	26.8%	42.1%	21.1%	17.9%	10.7%	18.3%	5.4%
25%以上	4.1%	56.7%	10.5%	42.1%	3.6%	71.4%	4.3%	53.8%
0% (ほぼ担当していない)	1.0%	11.3%	0.0%	26.3%	0.0%	17.9%	1.1%	39.8%



Q. 「妻」と「夫または男性パートナー」の平日と休日の家事の関与時間を教えてください。(n=237)

	妻 (平日)	夫 (平日)	妻 (休日)	夫 (休日)
なし	0.0%	15.6%	0.0%	10.5%
30分未満	5.9%	40.9%	3.8%	29.1%
30分以上1時間未満	13.5%	27.4%	7.6%	26.6%
1時間以上3時間未満	57.8%	16.0%	54.9%	29.5%
3時間以上	22.8%	0.0%	33.8%	4.2%

【サマリー】

- ・全家事業務のうち、「妻」と「夫または男性パートナー」それぞれが担当している割合に開きが出るにしたがって、「妻」の家事分担満足度は低くなっている。
- ・「夫または男性パートナー」の家事分担比率が50%以下、または「妻」の家事分担比率が75%以上になると、妻に負担がかかり、満足度が低くなっている。
- ・家事関与時間に関して、「妻」と「夫または男性パートナー」それぞれの平均時間で見てみると、**【平日】妻：約117分、夫：約38分、【休日】妻：約131分、夫：約59分、と、妻と夫で1時間以上の開きがあることがわかった。**詳細を見てみると、「妻」の家事関与時間は平日・休日ともに約55%以上が『1時間以上3時間未満』、さらに平日は約23%・休日だと約34%の人が『3時間以上』なのに対し、「夫または男性パートナー」は平日・休日ともに6割以上の人『1時間未満』となっている。

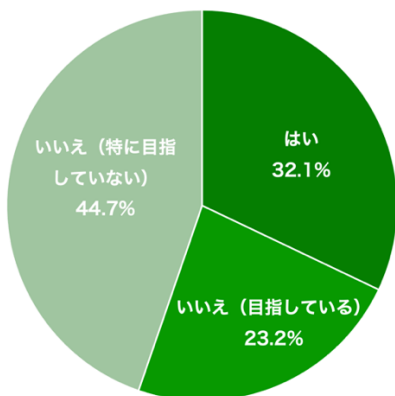
■体験型オンライン家事プログラム「タスカジブートキャンプ」の男性参加率

2020年5月のサービス開始以降、男性参加者はほぼ0%に近い数値でしたが、11月・12月で夫や子供の家事参加を目指した掃除プログラムを実施したところ、**プログラム参加の約31%の家庭で男性が参加。**

今後もタスカジブートキャンプでの男性参加が増えるよう運営のPDCAを回すとともに、男性（夫または男性パートナー）が家庭内で主体的に家事に関わっていくことができるよう、引き続き、家事スキルを身につけられるプログラム開発をおこなってまいります。

【5.5：仕事における女性がリーダー的地位に就いている(目指している)比率と、家事代行の関係性】


Q. あなたは、現在仕事でリーダー的な地位にありますか。(n=237)



Q. 家事代行を利用することが現在の仕事でリーダー的な地位を目指す上で有効でしたか、または有効になっていますか。

	現在、リーダー的な地位にいる (n=53)	まだリーダー的地位にいないが、目指している (n=41)	リーダー的地位におらず、目指していない
有効	43.4%	24.4%	—
どちらかといえば有効	39.6%	51.2%	—
どちらかといえば有効ではない	3.8%	9.8%	—
有効ではない	13.2%	14.6%	—

【サマリー】

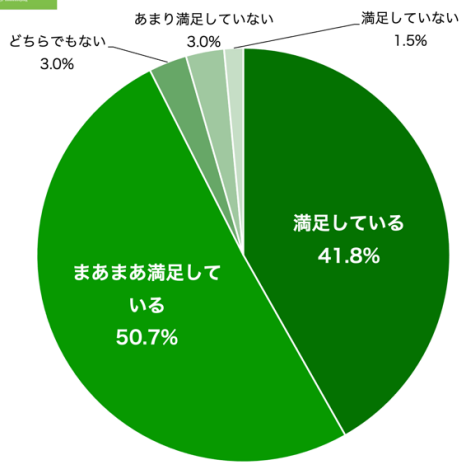
- ・アンケートに回答したタスカジユーザーの**55.3%**が、仕事で「現在リーダー的地位にある」または「今はまだ違うが、リーダー的地位を目指している」。
- ・「**現在リーダー的地位にいる人**」の**83%**の人が、家事代行を利用することが現在の仕事でリーダー的地位を目指す上で「有効」と回答。

【8.5：タスカジさん数、タスカジさんの満足度と成長変化】

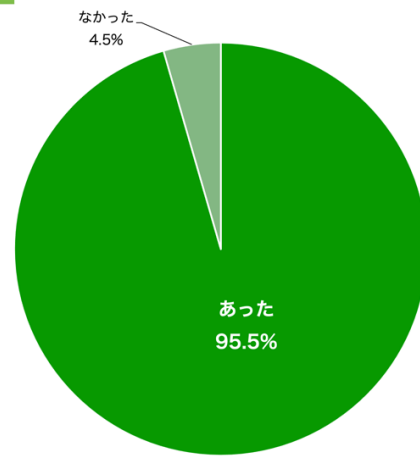
■タスカジさん登録数：約**2,500名**（2020年12月現在）



Q. タスカジさんとして働くことに満足していますか。(n=134)



Q. タスカジさんとして働き始めてから、自身の成長意欲にプラスの変化はありましたか。(n=134)



【サマリー】

・タスカジさんの92.5%もの人が、タスカジさんとして働くことに「満足している」「まあまあ満足している」と回答し、非常に満足度が高い。

・タスカジさんの約96%の人が、「タスカジさんとして働き始めてから自身の成長意欲にプラスの変化があった」と回答。起こった変化の具体例としては、「コミュニケーション力の成長」「スキルアップ・勉強」「経験を積むことによるマインドチェンジ」といったスキル・マインドの両面があげられていた。

タスカジは、自社目標の達成に向け努力するだけでなく、自社のビジョン・ミッション及び提供するサービスがシェアリングエコノミーに参加するすべてのユーザーのこれらの課題を解決することに取り組み、社員だけでなくユーザーまで巻き込んだ課題解決を目標としています。社会における意識変容を促し重要な価値をもたらす責任を認識し、**成長志向プラットフォーム型ビジネスのあたらしいSDGsを含む社会課題解決のモデル企業**となれるよう活動に取り組んでまいります。

■タスカジのサービスについて (<https://taskaji.jp>)

多彩な家事スキルを活かして働くハウスキーパー（タスカジさん）と、家事をお願いしたい人をつなぐ、シェアリングエコノミーの家事代行マッチングサービスです。2014年のサービスリリース以来、「核家族から拡大家族へ、新しい家族の形を再定義する」というビジョンを掲げ、一貫して家庭のあらゆる家事の課題解決をサポートしてきました。「家事代行は高価、家事は単純作業」という旧来型の家事意識の改革に挑戦し「コミュニティ循環型サービス運営モデル」の先駆けとなり、家事はクリエイティブな仕事であると発信し、証明し続けています。利用者数約75,000名、登録タスカジさん数約2,500名（2020年12月現在）。日経DUAL家事代行サービス企業ランキング2017 1位、日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2018働き方改革サポート賞。

■株式会社タスカジについて

社名：株式会社タスカジ
 設立：2013年11月6日
 代表者：代表取締役 和田幸子
 所在地：東京都港区芝2-26-1 iSmartビル301
 事業内容：家事代行マッチングプラットフォーム「タスカジ」の運営
 URL：<https://corp.taskaji.jp>

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞
 株式会社タスカジ 広報担当：門出 万里子（もんで まりこ）
 Tel：080-7827-9202 E-mail：pr@taskaji.jp